

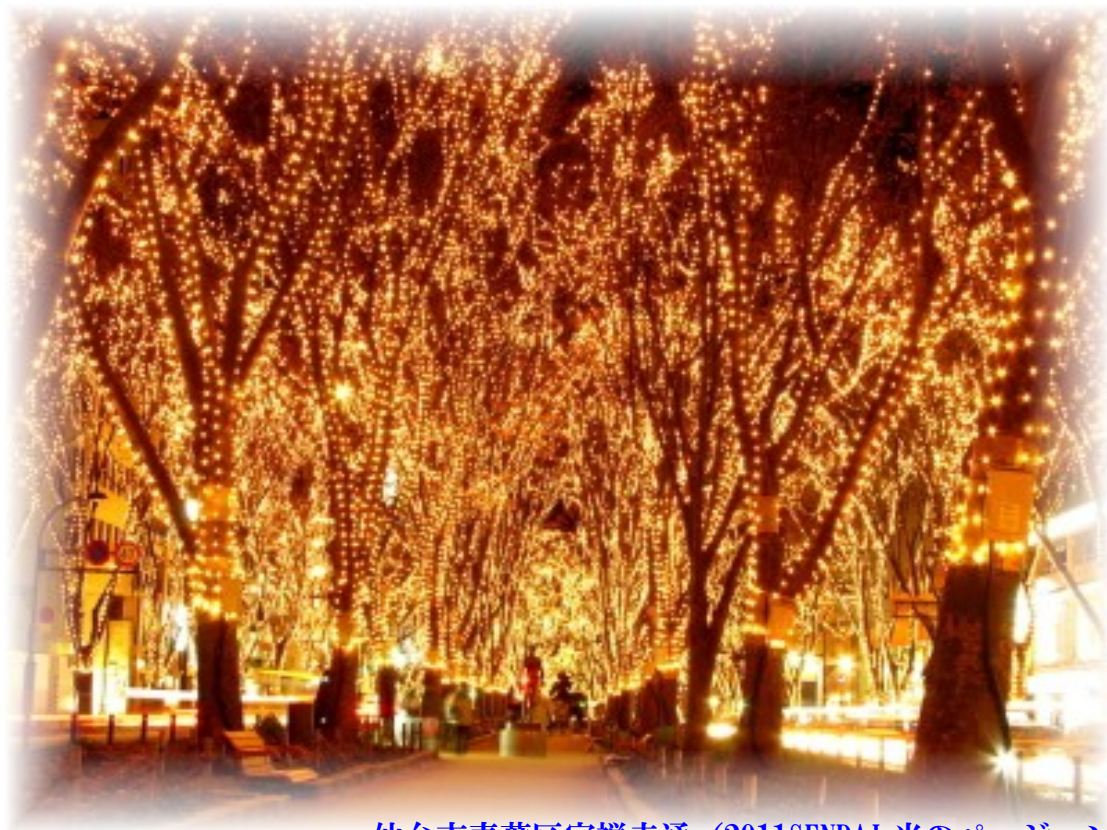


第32号

平成23年12月22日

**JASWHS** 公益社団法人 日本医療社会福祉協会  
Japanese Association of Social Workers in Health Services

## 東日本大震災 MSW災害支援ニュース



仙台市青葉区定禅寺通 (2011SENDAI 光のページェント)

### 目次

1. 募集情報
2. 現地活動状況
3. 現地支援活動報告①②
4. 仮設住宅における医療福祉相談会の報告
5. 現地・事務所協力員の感想文

## 募集情報

### 現地の活動人数を平日・土日とも4名で募集！！

これまで現地の活動人数を、平日3名、土日4名で募集しておりましたが、  
現地での活動拡大に伴い、平日・土日とも4名（宿舍の関係で最大5名）で募集いたします。  
平日はもちろん、相談会担当として週末だけの参加も歓迎いたしますが、中3日（金・土・日、  
土・日・月など）参加していただけると助かります。  
「活動には自信がないけど、車の運転はできる！」という方、ドライバーとしてのご協力も大  
歓迎です。皆様からのご応募をお待ちしております！

### 事務所でも引き続き協力員を募集！！

現地と併行して、これまで事務所の活動もたくさんの協力員の方々に支えられてきました。  
しかし最近人数が減ってきていて、事務所一同少しさみしく感じている今日この頃です。  
「本当は現地に行ければいいんだけど、職場や家庭の都合でなかなか・・・」という方  
「現地に行くのは自信がないけど、何かできないかな・・・」という方  
事務所では引き続き協力員を募集しています！  
現地の活動や、これから活動に参加する方・したい方の後方支援を一緒にしませんか？  
現地の様子を知ることできますよ！

### 石巻現地事務所に常駐のソーシャルワーカー募集！！

協力員のソーシャルワーカーはこれまで通り、平日4名、週末4名を募集し派遣を継続します。  
そのコーディネーター的役割を含む、現地活動の中心となる方です。  
「平日滞在し、週末は自宅に戻る」など体制については相談可能です。  
あなたの能力を、一時期でいいので災害ソーシャルワークに投入し、東北の復興に貢献してい  
ただけませんか？！  
また、お近くに適任の方がいたら、ご推薦いただければ幸いです。  
協会全員で、東北の復興を支援しましょう。

#### <連絡先>

災害対策本部 月～金：10:00から17:00 土：10:00～12:00

TEL：03-3351-5038 FAX：03-5366-1058 Mail：dsstsw@jaswhs.or.jp

## 現地活動状況

12月12日

- ・仮設住宅入居者について、生保CW・保健師と電話連絡
- ・石巻市役所河南支所仮設住宅入居者ケース検討会議
- ・SWミーティング

12月13日

- ・健康生活アセスメントの進行方法の検討
- ・石巻市役所介護保険課で訪問時使用予定のパンフレット等収集
- ・アセスメント後訪問面接
- ・アセスメント後フォローのSWシート受取（祐HC）

12月14日

- ・健康生活アセスメント、アセスメント後のフォロー電話、アセスメント後の訪問準備
- ・石巻市役所、石巻社会福祉協議会、ボランティア団体等から年末年始の活動情報収集
- ・仮設入居後継続ケースの訪問
- ・アセスメント後フォローのSW一覧を作成し送信（祐HC）

12月15日

- ・健康生活アセスメント後のフォロー電話と訪問
- ・仮設ケース訪問後の連絡調整（病院MSW・保健師・生保CW）
- ・アセスメント後の訪問記録作成
- ・石巻医療圏 健康・生活復興協議会の要フォロー会議

12月16日

- ・災害対策副本部長と石巻市役所（障害福祉課・介護保険課・仮設住宅運営管理室）と面会
- ・仮設入居者のフォロー（河南支所保健師・こだまホスピタル連携）
- ・石巻災害復興支援協議会 仮設サロン支援連絡会

12月17日～18日

- ・茶話会/相談会

祐ホームクリニックのホームページに当会との連携が掲載されています。

→ <http://youhc.blog.fc2.com/>

## 災害支援SW報告会 （旧ボランティア報告会）

日時：2012年1月20日（金）19:00～20:30

場所：日本医療社会福祉協会 会議室

申込み：災害対策本部までメール又は電話でお申し込み下さい。

\*報告会の名称が変更になりました。

## 現地支援活動報告①

高橋 聖香（亀田総合病院）

期間：12月13日～12月15日

107件のスクリーニング作業を行いました。情報不足で介入する必要があるケースや電話番号がなく訪問をする必要があるケースが多く、マンパワーが少ないので支援には時間がかかると思いました。訪問調査をするとなると、移動が徒歩になることもあるので、相談業務を行う際の服装も防寒が必要です。

今回は実際に訪問相談をしましたが、「表札」「住所（出さない地域とのこと）」がないため、家を探すのに時間がかかりました。近所の方に尋ねるしかない時もありましたが、相談員が出入りすることを気にする方ですと、周囲に聞くのも注意しなくてはならないと思いました。

## 現地支援活動報告②

篠原 純史（国立病院機構 高崎総合医療センター）

期間：12月17日～12月19日

12月17日（土）～12月19日（月）、一原さん（災害対策本部事務所）と活動させていただきました。一原さん、大変お世話になりました。

12月17日（土）は午後からの参加で、社会福祉士等相談支援事業での活動をさせていただきました。

前回は、遊楽館にて、6月下旬～7月上旬での活動であったため、今回は異なったフェーズでの活動となりましたが、今まで現地や事務所等で活動をされてきた皆様の積み重ねたものが、いま現在、活動する現地のSWの支えになっていることを痛感いたしました。

今回での活動を次の活動に生かせるように、できることをしていきたいと思えます。

現地事務所・宿舎は、石油ファンヒーターが入り温かくなりました。

# 医療福祉相談会の報告

現地担当者代理 一原 綾子

12月17日18日に11回目の仮設住宅における茶話会／相談会を実施しました。

1日目は4名、2日目は8名の方の参加があり、計12名の参加でした。

茶話会の話題は「住民同士の自己紹介」「避難所での人間関係の苦労」「現在の生活」「鍵の管理人や班長について」「体調のこと」「仮設住宅の構造のこと」「震災後のストレスについて」でした。

1日目の団地は今回2回目の開催でした。今回参加が2回目の方と初めての方がいらっしゃいました。初対面同士の方もいてそれぞれの自己紹介から始まり、避難所での生活や現在の生活のことなどを話されました。小規模な団地ですがまだお互い知らない人も多く、談話室の管理人も決まっていません。談話室は広くて日当たりもよいため日常的に住人が使えるようにしたいし、何かあったときのことを考えると早くご近所の交流や自治組織を作りたいとの希望が聞かれました。

2日目の団地は石巻市立病院看護師のご協力があり、団地の状況等を事前に知った上で開催することができました。また血圧測定も茶話会の話題のよいきっかけとなりました。この団地はすでに談話室の鍵の管理人は決まっており、住人同士の交流も世代を超えて芽生えてきているようでした。茶話会の場で自分の考えや行動について他者に話すことができ、楽になった様子が見受けられました。



配布したチラシ&ポスター



会場の様子



茶話会の様子

## 現地感想文

12月12日(月)

本日、後任者が現地担当者として着任されました。1週間、関係機関へのご挨拶や会議、ケースを通して、当会としての支援活動が継続できるよう、引き継ぎを行っていきます。

12月13日(火)

石巻は日中も、冬らしい凜と張りつめた空気になって来ました。今日歩いた渡波地区は、軒あたりまで浸水し、残る家はどこも修繕途中です。空き地が多い街区が続く、風に埃が舞っていました。

12月14日(水)

今夜は夜遅くまで外出で、車がしっかり冷え、窓もミラーもくもりにくもって大変でした。冬ですねー！マンションのそばに「焼き芋屋さん」の車もまわってきました。これも日常のうれしい戻りでしょうか。

12月15日(木)

昼は雨の中、市内・仮設訪問、茶話会チラシ配りと3手に分かれてフル活動でした。夜は、取材のカメラの中での会議でしたがレンズを忘れて白熱しました。市民・町民と直接対話、支援するメンバーの思いは共に熱いです。

12月16日(金)

今日の午前中は雪でした。11月より格段に寒くなっています。今は部屋の中でもコート&マフラーです。やはり電気を30Aから40Aに上げ、石油ファンヒーターも活用していかなければならぬそうです。

12月17日(土)

今朝は小雪が舞う中、凍結した路面をびくびくしながら運転し、相談会会場に向かいました。相談会/茶話会を切り盛りするのはやはり大変で、最低2人はいるとよいと思いました。午後から篠原さんが来てくださって、ほっとしました。

小原さんが仲介してくださった、歯ブラシ700本が無事に届きました。歯医者さんの団体からの提供だけあって確かにものがよさそうです！明日の相談会でもきっと喜ばれると思います。

12月18日(日)

今日の相談会/茶話会は市立病院Nsとのコラボで、単独で行うときとは違った良さがあったと思います。特に遊楽館で一緒させていただいた看護師さん達なので連帯感・安心感がありますし、子どもたちが仲良く遊ぶ声、談話室の明るさもあって、外は寒いけれど、全体的になんだかポカポカするような相談会でした。

## 事務所感想文

12月12日(月)

田玉(初台リハビリテーション病院)

久しぶりに事務所のボランティアに入り、緊張しましたが、なんとか終了しました。

12月14日(水)

左右田(初台リハビリテーション病院)

静かな1日でした。一原さんからの申し送りを頂き、安心して過ごせました。寒さが厳しくなるなか、現地の皆様の活動に感謝です。

12月16日(金)

取出(初台リハビリテーション病院)

会員の方と直接、電話で現地ボランティアの手続きについてお話ししました…。お会いしていないのに、何か太く繋がったような気がして、少し幸せな気持ちになりました。事務所の活動の楽しみです。

12月17日(土)

笹川(初台リハビリテーション病院)

本日は急遽、渋川総合病院の伊藤さんが駆けつけて下さいました！1人だと身も心も寒く感じる今日この頃ですが、伊藤さんがいらしてくださって、ぬくぬくとした気持ちになりました。お心遣いに感謝です！せっかく来てくださったのに午後から抜けてしまいすみません…。

12月17日(土)

伊藤(渋川総合病院)

マニュアルや資料を読ませていただいていた。全てが頭に入るはずありませんが、これからのために。作り上げてこられた方々に感謝しつつ…。笹川さん、突然現われて失礼いたしました。

12月19日(月)

清水(初台リハビリテーション病院)

とても落ち着いていました。作業に追われることなく、マニュアルを読み直したり、活動報告を読ませていただいたり、いつもとはまた違う、有意義な時間を過ごせました。